

第3回高校生ロボットシステムインテグレーション競技会開催等業務 仕様書（企画提案用）

1 目的

モノづくり現場の自動化を担うロボットシステムインテグレータの人材創出を目的とする高校生を対象とした「高校生ロボットシステムインテグレーション競技会（以下「競技会」という）」の第3回を開催する。

なお、競技会は全国の高校から17チーム（予定）（1チームあたり生徒最大10名）が参加し、各チームにつき1社のロボットシステムインテグレータ企業がサポーター企業として支援を行う。

2 業務

- (1) ロボットシステムの保険加入や搬送の管理等
- (2) 参加チームへの活動支援等
- (3) 講習会等の運営
- (4) 競技会の運営
- (5) 広報・PRの実施
- (6) 実行委員会・技術部会の資料作成補助
- (7) 競技課題及び講習内容の検討等

3 業務内容

- (1) ロボットシステムの保険加入や搬送の管理等

ア ロボット等の保険加入

参加チームに貸与するロボットと一部機器について、愛知県の指定する保険に加入する。

○加入時期：2024年5月頃

○保険期間：2024年度中

○保険加入ロボットシステム数：12式

イ ロボットシステムの調整・搬送の管理及び支払い

サポーター企業が行うロボットシステムの調整や搬送、設置の費用を含めて管理し、ロボットシステムの搬送や設置、機器調達に係る費用をサポーター企業に支払う。

<スケジュール>

- ・2024年5月頃 搬送・設置・調整 [システム保管場所→サポーター企業]
- ・2024年5月頃 搬送・設置 [サポーター企業→参加チーム校]
- ・12月上旬 搬出 [参加チーム校]
- ・12月13日 搬入・設置 [競技会会場]
- ・12月14日 搬出 [競技会会場]
- ・12月中旬 搬入・設置 [システム保管場所]

(2) 参加チームへの活動支援等

ア 参加チームメンバーの情報管理

参加チームメンバーの情報をとりまとめ、管理し、適宜愛知県に報告する。

イ 活動支援費の管理

参加チーム校に対し、活動支援費を支給する。活動支援費の適正な使用を確保するため、参加チーム校の支援費使用結果と伝票等进行检查し精算する。

<対象経費>

本競技会の実施に必要なワーク、部品調達費、治具製作費、原材料費、教材、参加チームメンバーの交通費

<上限額>

1チームあたり 20万円 (メーカー部門)

1チームあたり 20万円 (オープン部門)

<支給方法>

概算払い (口座振込)

※2024年5月に参加チーム校へ上限額を振り込む。

<精算方法>

2025年1月以降に参加チーム校に対して使用結果进行检查 (支出内容の適性や伝票の有無等) し、残額分の返金を受ける。返金の取扱いについては、愛知県の指示に従うこと。

ウ 共通講習の教材の調達

共通講習に必要な教材を調達し、各参加チーム校へ配布する。

<必要な教材>

(ア) ロボットSI 検定3級テキスト

全参加チーム校から必要部数を取りまとめ、FA・ロボットシステムインテ

グレータ協会へ発注する。なおテキスト代（2,200円／冊）は、参加チーム校が活動支援費等で負担する。

エ 参加チーム等の活動状況把握

適切なアプリケーションソフト等を活用し、参加チーム、サポーター企業、テクニカルアドバイザー間のコミュニケーションの円滑化を図る。

オ テクニカルアドバイザーの運営

参加チームの教員やメンバーへ技術的なサポート等を行うテクニカルアドバイザーに対して、謝金（日当及び旅費）を支給する。

テクニカルアドバイザーは1ヶ月あたり延べ20日間、合計8か月間（予定）活動する。

(3) 講習会等の運営

ア 企業見学会の運営

参加チームメンバーを対象に、ロボットシステムインテグレート企業の見学会を開催する。

○時期：2024年6月頃（予定）

○見学先：愛知県内のロボットシステムインテグレート企業等4社（予定）

○見学方法：参加者を2つのグループに分け、それぞれ貸切バスで移動し、2社ずつ見学する。

(ア) 見学会の案内、参加者取りまとめ

(イ) 会場となる企業との調整

(ウ) バス（2台）の運行

(エ) 見学会の運営・進行

イ ロボットテクノロジージャパン2024見学会での保険加入

競技会参加校及び愛知県立工科高校を対象とした「ロボットテクノロジージャパン2024見学会」の参加者（最大400名）のケガ等を保証する保険に加入する。

○日程：2024年7月6日（土）

○場所：Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）

ウ シミュレーション講習会の運営

参加チームメンバーを対象に、各ロボットのシミュレーションソフトの使い方の

講習会を開催する。

○時期：2024年7月下旬 延べ4日間

○場所：オンライン又は各ロボットメーカー企業（株式会社デンソーウェーブ、株式会社FUJI、ファナック株式会社、三菱電機株式会社）

- (ア) 講習会の案内、参加者取りまとめ
- (イ) 企業との調整
- (ウ) アーカイブ動画の撮影・配信

エ リスクアセスメント講習会の運営

各チームメンバーを対象とした、ロボットシステムインテグレーションに必要なリスクアセスメントに関する講習会の講師謝金、旅費を支給する。

○時期：2024年9月～

○方法：動画と参加チームへのフィードバック

オ 教員向け講習会の運営

競技会への参加を促すため、全国の高校教員を対象として講習会を開催する。

○時期：2024年7月29日、7月30日

○場所：株式会社バイナス（稲沢市）

○定員：10名

- (ア) 講習会の案内、参加者取りまとめ
- (イ) 会場となる企業との調整、講師謝金支給
- (ウ) 参加者の会場アクセス支援
- (エ) 配付資料の準備
- (オ) 修了証の作成

(4) 競技会の運営

各チームで構築したロボットシステムの成果披露・審査・表彰等を行う第3回高校生ロボットシステムインテグレーション競技会を開催する。

○会期：2024年12月14日（土）、15日（日）

○場所：Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）ホールC

ア 競技会全体の計画・調整

実行委員会や技術部会、サポーター企業、参加チーム、隣接するホールDで開催される第12回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト全国大会（以下、「チャレコ

ン全国大会」)関係者、同時開催イベント関係者、施設管理者及び設備事業者等と必要な調整を行う。また、開催にあたり、必要となる消防・警察等の関係機関への申請手続きを行う。

また、イベント運営にあたり、事務局スタッフ用運営マニュアルを作成する。

(参考) 第12回 全国少年少女チャレンジ創造コンテスト全国大会

- 日程：2024年12月14日(土)
- 会場：Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場) 展示ホールD
- 内容：コンテスト、サイドイベント (ワークショップ、作品展示等)
- 主催：(公社)発明協会 共催：愛知県

イ 会場設計

競技会及びサイドイベントにて使用する会場利用の設計を行う。

会場の設計にあたっては、実行委員会や技術部会、サポーター企業、参加チーム、チャレコン全国大会関係者、同時開催イベント関係者、施設管理者及び設備事業者と調整のうえ、作成するものとする。

ウ 会場の設営・装飾・撤去

前項の会場設計に基づき、会場設営・撤去について、必要な資材等の調達・手配、搬出入計画の作成などにより、円滑な会場設営・撤去を行う。なお、設営・撤去日程については、以下のとおり。

- 設営日 2024年12月12日(木) 午後、12月13日(金)
- 撤去日 2024年12月15日(日) イベント終了後から24時まで

エ 競技会の運営

競技会に係るロボット搬出入の手配、参加チームメンバーによるセットアップ・実演、ステージプレゼンテーション、審査、表彰の運営を行う。

審査員への謝金・旅費を支給する。

オ 式典(開会式及び表彰式)の運営

競技会の開会式や競技会成績優秀者の表彰式を運営するとともに、受賞校、参加校の記念写真撮影を行う。

- 開会式 2024年12月14日(土) 9時30分～9時40分(予定)
- 表彰式 2024年12月14日(土) 16時30分～16時50分(予定)

カ 交流会の運営

競技会当日に、サポーター企業、参加チーム、関係者等を対象とした交流会を運営する。交流会では、軽食、ソフトドリンクを用意すること。

○日時 2025年12月14日(土)17時～17時30分(予定)

○場所：Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)ホールC(予定)

キ サイドイベントの企画・運営

一般来場者(想定される来場者：未就学児、小学生とその保護者)が観覧や体験等ができる催事を企画し、関係者と調整の上、運営する。

なお、チャレコン全国大会と相互に行き来ができることとする予定であり、チャレコン全国大会との相乗効果が出るような企画とすること。また、チャレコン全国大会で行われるワークショップと差別化を図れるような内容とすること。

(ア) ワークショップ

ロボットシステムインテグレーションやモノづくり等への関心を高めることを目的としたワークショップを運営する。

(イ) 企業・団体等による展示・デモンストレーション

企業や団体、大学等による展示やデモンストレーション等を企画する。

(ウ) ステージイベント

来場者の関心をひく、ステージでの講演や体験できるコンテンツ等を企画し、運営する。

(エ) その他

来場者向けの休憩エリアや飲食エリア等を運営する。

ク 関係者向け競技会見学ツアーの運営

実行委員会委員、技術部会員、ロボットメーカー、部品メーカー、高校教員等を対象として、競技会深く理解していただくことを目的に、競技会見学ツアーを運営する。

○日程 2024年12月14日(土)

○回数 1時間程度のツアーを2回開催

○人数 1回当たり20人程度

○内容 競技会の説明、会場内ツアー

ケ 競技参加者・来場者・関係者向け配布物の作成

競技参加者・来場者・関係者向け配布物を作成し、該当者へ配布する。

- 来場者用パンフレット（カラー、5,000部）
- 表彰状、トロフィー（6～8チーム分）
- 参加証明書（参加チームメンバー全員分）
- 入場パス（競技参加者、関係者、来場者等）
- アンケート回答者用ノベルティ

コ 受付・案内業務

参加チームメンバーや関係者、来場者、メディア関係者等に対する会場受付の体制を構築し、円滑な処理を行う。

来場やワークショップ参加等に関して、事前登録をはじめとする登録の体制を構築し問合せに対応する。

インフォメーション窓口を設置し、来場者への案内及びワークショップの受付等を行う。

サ 警備・要人対応

イベントを安全に実施するため、警備員を適切に配置し、会場内外の交通整理や巡回などの業務を実施する。

会期中、視察等で要人が訪れる場合については、動線、駐車場の確保等、必要な対策を実施する。

シ 救護対応

競技参加者及び来場者の傷病に対応するため、会場内に救護室を設置する。必要に応じて看護師を配置し、急病人や負傷者が発生した際の応急処置や近隣の医療機関への搬送の手配等を行う。

ス 衛生管理・清掃

大会会場の環境維持を図るため、巡回清掃、ごみの収集・処分などを行う。

セ アンケート

イベント期間中に来場者へアンケートを実施し、事業評価の材料とする。

アンケートに回答した来場者には、ノベルティを配布する。

また、イベント終了後には、参加チーム、参加チーム担当教員、サポーター企業、出展企業・団体、ワークショップ運営事業者等へのアンケートを実施し、とりまとめる。

ソ その他の運営に関する対応

- 会期中の事務局の設置
- 来場者数のカウント
- イベントの画像、映像を撮影する専任スタッフの配置
- 災害・緊急時対応
- 障害・損害保険への加入

(5) 広報・PR の実施

競技会の広報・PR の提案、ウェブサイトの運営、広報資材の製作等を行う。

ア 広報・PR の提案

競技会の認知度を高め、誘客につなげるための広報・PR 方法（公共交通機関での広告やWEB 広告、SNS 広告、新聞広告等）を企画提案し、実施する。

イ 競技会ウェブサイトの構築・運用

競技会公式ウェブサイトを構築し、競技会の認知度を高めるための情報を随時掲載する。

<ウェブサイト掲載例>

- 各種講習会の様子
- 各学校での実習等の進捗状況
- 競技会のイベント情報詳細

ウ 競技会のチラシ・ポスターの製作・配布

競技会のチラシ等を製作し、県内外の学校への配布をはじめ、広く周知を図る。なお、チャレコン全国大会関係者、同時開催イベント関係者と調整し、効果的な広報を行うこと。

- チラシ：カラー、660,000 部程度（愛知県内小・中・高校の全生徒約 650,000 名（名古屋市を除く。）及び約 100 団体へ配布）
- ポスター：カラー、280 部（県内外の学校をはじめ約 200 団体へ配布）

エ 参加チーム募集チラシデータの製作

次年度大会の参加チームを広く全国から募集するため、チラシデータを製作する。

- チラシ：カラー（データで納品）

オ 周知用パネル・ツールの作成

競技会の内容を説明周知するパネルやツールを作成する。

○競技用パネル：カラー、A0又はA1、7枚～10枚

○競技会ダイジェスト映像

(6) 実行委員会・技術部会の資料作成補助

実行委員会・技術部会の開催にあたり、必要な資料や図面を作成する。

(7) 競技課題及び講習内容の検討等

競技課題及び講習内容の見直し・新規作成に向けての検討を行うほか、来年度の実施に向けての準備や必要な調整を行う。

ア 新設部門の競技課題作成及び既存部門の競技課題見直し

2025年度新設予定部門の基礎課題及び応用課題を作成する。また、既存4部門の基礎課題及び応用課題の見直しを行う。

イ 講習内容の検討及び教材の作成

共通講習を始めとした講習等のカリキュラムを見直すとともに、必要な教材について新規作成又は更新を行う。

ウ 競技課題・講習の検討会議等の運営及び資料作成

アの競技課題の作成・見直し、及びイの講習内容検討・教材作成にあたり、競技関係者等の意見を踏まえつつ検討を進めるため、ワーキンググループを定期開催するとともに、資料作成、謝金等支払い（必要な場合）及び運営を行う。また、技術部会等にて審議するにあたっての、資料作成等の準備を行う。

エ 次年度開催に向けた必要な物品等の準備並びに調整

新設部門や課題を見直した部門の競技準備を次年度速やかに開始できるよう、必要な物品等の調達を行う。また、次年度に向けたロボットシステムインテグレータ企業・ロボットメーカー及び学校との調整を行う。

4 委託期間

契約締結日から 2025年3月21日（金）まで

5 成果物

下記の（１）～（４）の成果物を 2025 年 3 月 14 日までに提出すること。

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| （１）事業実施報告書 | 紙 2 部及び電子データ 1 式 |
| ※図面等を除き、A 4 版縦、横書き、左綴じ、適宜カラー印刷 | |
| （２）各種チラシ | 1 式 |
| （３）記録写真及び関連データ等 | 1 式 |
| （４）その他、業務にあたって県が作成を指示した資料 | 1 式 |

6 提出先

〒460-8501

名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

高校生ロボットシステムインテグレーション競技会実行委員会事務局

担 当 青木、丸山

電 話 052-954-6352（ダイヤルイン）

F A X 052-954-6943

7 仕様の変更について

本業務内容にかかる仕様記載事項は、今後状況に応じて変更せざるを得ない場合がある。その場合の仕様の変更には可能な限り柔軟に対応すること。なお、その場合には下記の点に留意すること。

- （１）原則として、契約金額の範囲内で対応すること。
- （２）数量変更等仕様変更に伴う価格の変更については、状況に応じて、減額となることも想定される。

8 再委託等について

業務の全部又は主要な部分を一括して第三者に委託させるときは、事前に県と協議すること。

9 情報管理体制

個人情報保護を含む情報管理については、十分に留意し、法令・条例を遵守すること。

10 その他

- ・ 業務に当たっては、委託者と十分に調整を行いながら進めるものとする。また、

本業務の実施に当たり、疑義が生じた場合は、委託者、受託者協議のうえ、定めること。

- 業務の必要上、委託者から資料の提出を要求された場合には、速やかに提出することとする。
- 当該業務の経理を明確にするため、受託事業者は他の経理と明確に区分して会計処理を行うこと
- 業務完了後、5年間、本業務に係る会計帳簿及び証拠書類を委託者の求めに応じていつでも閲覧に供することができるように保存しなければならない。